

滋賀県と建設テックのクラッソーネが空家等の除却(解体)促進に関する連携協定を締結 ～都道府県初の連携で、空家等の増加抑制や管理不全空家等の発生予防を目指す～

滋賀県(知事:三日月大造)と、解体工事の一括見積り Web サービス「クラッソーネ」を運営する株式会社クラッソーネ(愛知県名古屋市、代表取締役 CEO:川口哲平)は、空家等の除却促進に関する連携協定を締結いたしました。滋賀県においても課題となっている空き家問題への対策として、県内の空家等の所有者に対し、活用が困難な空家等の適切な除却に向けた情報提供を連携して実施することで、空家等の増加抑制や管理不全空家等の発生予防を目指します。



協定の背景と目的

- 滋賀県では、世帯数の伸びを上回る住宅建築が進んでいる中、今後県内の世帯数が減少に転じようとしており、住宅ストック過多への対応がより一層求められています。こうした中、老朽化し活用が難しい住宅が除却されずに残存していることから、住宅が空き家となった際に所有者や相続人等が早期に適切な対応が行えるよう、所有者や相続予定者等に対する啓発や情報提供を行うことが重要と考えています。
- 株式会社クラッソーネは、解体工事領域で、全国約 1,600 社の専門工事会社と施主をマッチングする一括見積り Web サービス「クラッソーネ」を運営しており、これまでに累計約 10 万件以上の問い合わせ実績、累計約 1 万件以上の工事契約実績(旧サービス「くらそうね解体」の実績含む)があります。2020 年 9 月からは施主と工事会社に対し“着手金保証”“完工保証”“第三者賠償責任保険”を組み合わせた「クラッソーネ安心保証パック」の提供を無料で開始し、空き家解体に伴う不安解消、社会課題化している空き家問題解決への取組強化を行っています。
- 今回、滋賀県内の空家等の所有者に対する情報提供を両者が連携して実施し、空家等の増加抑制や管理不全空家等の発生予防を通じ、安全安心な地域づくりを実現することを目的に、連携協定を締結いたしました。
- なお、株式会社クラッソーネが都道府県と協定を締結するのは、滋賀県が全国初の事例となります。

協定に基づく連携協力事項

- (1) 活用が困難な空家等の円滑な除却に向けた所有者等への情報発信に関すること
- (2) 空家等の発生予防に向けた県民への意識啓発に関すること
- (3) その他、滋賀県内の空き家対策の推進に関すること

協定に基づく主な取組内容

- 滋賀県や県内市町の空き家対策の Web サイトにおいて、解体の概算参考価格を提示する「AI による解体費用シミュレーター」を紹介
- 空家等の所有者に向けて、解体工事の進め方についての情報を提供
- 県民からの空家等の解体に関する相談に対し、一括見積り Web サービス「クラッソーネ」を紹介

代表者のコメント

滋賀県知事 三日月 大造



滋賀県では、世帯数の増加以上に住宅の増加が続いている中、令和 12 年には世帯数が減少局面へ転換する見通しとなっています。このため、住宅ストック過多の状況が一層進行し、空き家問題が拡大しかねないことから、「空き家の発生予防」「既存住宅の流通・利活用」「解体除却」の 3 つの視点から対策に取り組んでいるところです。

安全安心な地域づくりを進めていく上で、老朽化した空き家は解体除却を進めていただくことが重要ですが、所有者の方にとっては、費用の負担感や工事の進め方などの御不明や御懸念があらうかと思えます。今回の協定を機に、こうしたお気持ちを少しでも解消し、安心して解体除却を進めていただける環境を市町とも連携しながら作っていきたいと考えています。

株式会社クラッソーネ 代表取締役 CEO 川口 哲平



当社は「『街』の循環再生文化を育む」というビジョンを掲げ、解体工事を通じて多くの人々の豊かな暮らしの実現を目指しています。事業を行う中で、空き家問題の高まりを感じており、またその解決には自治体と民間事業者の連携が重要だと考えています。

空き家の増加や発生予防に向けて積極的に取り組みを進める滋賀県と、このたび都道府県としては初めて連携協定を締結し、空き家解体の領域でまちづくりのサポートができることを大変嬉しく思います。弊社の解体についての知識や経験・IT 技術を活かして、空き家の適切な除却による安全安心な地域づくりや、自治体 DX の推進に尽力して参ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

滋賀県土木交通部住宅課企画係 担当:関(せき)・永里(ながさと)

電話: 077-528-4235(内線:4235) E-mail: house-kikaku@pref.shiga.lg.jp

株式会社クラッソーネ 人事広報部 担当:宮田(みやた)・近土(こんど)

電話: 052-589-8085 E-mail: pr@crassone.jp